

流れづれなるままに日暮らし硯に  
向かひて、心にうつりゆくよしなし  
事と、そこはかとなく書きつければ、  
あやしうこそものぐるほしけれ。

兼好法師 徒然草より

五年

佐藤 礼  
菜

つれづれなるままに、日暮らし硯に  
向かひて、心にうつりゆくよしなし  
事を、そこはがとなく書きつければ  
あやしうこそものぐるほしけれ。

兼好法師 徒然草より

五年

野口 萌 夏

つれづれなるままに、日暮らし、硯に  
向かひて、心にうつりゆくよしなし  
事を、そこはかとなく書きうければ、  
あやしさう、そもそものぐるほしけれ。

兼好法師 徒然草より

五年  
樋 熊 慧 人

つれづれたゞままに、日暮らし、硯に  
向かひて、心にうつりゆくよしなし  
事を、そこはかとなく書墨つければ、  
あやしう、うもぐるばしけれ。

兼好法師　徒然草　より

五年

松村茉於

つれづれなるままに、日暮らし窓に  
向かひて、心にうつりゆくよしなし  
事を、そこはかとなく書きつければ、  
あやしうこそものぐるほしけれ。

兼好法師 徒然草より

五年  
笠原 結衣

つれづれなるままに、日暮らし硯に  
向かひて、心にうつりゆへよしなし  
事を、そゝはかとなく書かうれば、  
あやしうこそものぐるほしけれ。

兼好法師 徒然草より

五年

川島百叶

つれづれなるままに、日暮らし、硯に  
向かひて、心にうつりゆくよしなし  
事を、そこはかとなく書きつくれば、  
あやしう、えものぐらほしけれ。

兼好法師 徒然草 より

五年 久保田 さや

つれづれなるままに、日暮らし、碗に  
匂ひて、心にうつりゆくよしなし  
事を、そつはかとなく書うやれば  
あやしう、そもそものぐるほしけれ。

兼好法師 徒然草より

五年 柴崎 遙